

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和4年12月20日 第159号

## パンダを見てきました

10月から上野動物園で、昨年6月に生まれた双子のパンダを自由に見られるようになりました。以前は抽選だったそうですが、今なら30分位並べば見られるとのことでしたので、人生初パンダ、初上野動物園に行ってきました。当日は抜けるような青空で気温もちょうどよく、絶好の行楽日和でした。開園時刻ちょうどに着くと、並んでいた人たちのほとんどが入場ゲートを素通りしていきます。私はeチケットを持っていたので後に続こうとすると、職員に止められチケット



上野といえば西郷さんです。

まあ確かに可愛いのですが、犬猫でも可愛いですし、テレビの方が良く見えるので、一度見たことがあるという体験をできただけで十分満足しました。

どの動物でもそうなのですが、檻が広いめなかなか見えやすいポジションに来てくれず、ちょっと物足りなさを感じることもあります。動物にとっては他所の動物園よりも良い環境なのは間違いなさそうですが。

を確認をされました。あの方々には年間パスポートを持っていたようです。そういえば立派なレンズのついたカメラを持っている方が沢山いて、ガンガン撮影しています。

肝心のパンダもしっかり見ましたが、観覧時間は4分だけ。1分ずつ場所を移動させられるので、実際にしっかりと見ることができるのは2分位でした。



双子のお父さんパンダ。



庭は大根だらけです。

大根のおいしい季節になってきました。私は冬は鍋がメインとなりますので、大根を薄切りにして大量に食しております。大根は種を蒔けば、ほぼ全てが発芽して成長してくる、家庭菜園の超優良作物です。同時期に種を蒔いたホウレンソウと小松菜はほとんど発芽しませんでした。深さや掛ける土の厚さを変えながら何回か試しましたが、ほぼ成果なし。葉物がダメな理由が分かりません。

我が家の畑

## 賃金引上げ等の実態に関する調査結果が公表されました

厚生労働省は、令和4年「賃金引上げ等の実態に関する調査」の結果を公表しました。この調査は、全国の民間企業における賃金の改定額、改定率、改定方法などを明らかにすることを目的に、例年7月から8月にかけて行われています。調査の対象は、常用労働者100人以上を雇用する会社組織の民間企業で、令和4年は3,646社を抽出して調査を行い、2,020社から有効回答を得ています。

### 賃金を引き上げる企業が85.7%

令和4年中における賃金改定の実施状況をみると、賃金を引き上げた、または引き上げる企業の割合は85.7%（前年80.7%）となり、3年ぶりの増加となりました。産業別に見ると、「学術研究、専門・技術サービス業」が95.7%、次いで「建設業」が95.4%と高くなっています。また、賃金の改定状況をみると、1人平均賃金の改定額は5,534円（前年4,694円）、1人平均賃金の改定率は1.9%（同1.6%）でした。

調査では、賃金改定の決定時に重視した要素として、「会社の業績」（40%）、次いで「労働力の確保・定着」（11.9%）が挙げら

れています。業界内・他企業の動向も踏まえつつ、賃上げ要請に対する自社の戦略を立てていくことが必要となるでしょう。



### 高齢労働者もDX・リスクリング

60代の高齢者に占める就業者の割合が上昇しており、2020年時点で仕事をしていた高齢者は59.0%でした。日本の労働人口は2040年までに20%減るともいわれ、年金の支給開始年齢の70歳までの引上げを視野に入れているようです。働かなくてはならない高齢者も増え、労働力人口に占める働く高齢者の割合も増えることになるでしょう。高齢になってからも働かなくてはならないというのは確実なようです。

年齢が上がるとどうしても新しい物事に取り組む意欲が弱くなり、慣れ親しんだ方法から離れられなくなるということはあるでしょう。しかし、これからも働くのであれば、年齢や業種、職層に関係なくDX・リスクリングは必須のものとなります。

新しいデジタルツールといってもこれまでの技術の延長上にあるものですので、仕組みが分かれば怖いことはありません。